

令和4年2月17日

社会福祉法人 函館一条
利用者・保護者各位

「ワークセンター一条」栄養士の新型コロナウイルス感染者発生報告と対応について

昨日2月16日20:00に、社会福祉法人函館一条が運営する通所事業所 ワークセンター一条において、職員1名に新型コロナウイルス感染が確認されました。当該職員は当法人の栄養士です。

経緯を説明しますと、まず2月14日夜間に当該職員の同居家族が発熱し、PCR検査を受けたところ、陽性と診断を受けました。当該職員は濃厚接触者となり、16日にPCR検査を行ったところ、当該職員も陽性と診断されました。（当該職員は、家族の発熱により出勤を自粛していたため、15日以降は事業所に入退ししていません）感染者となった当該職員とご家族は、25日まで自宅療養となっております。

函館市保健所の指示では、48時間遡って判断するのが濃厚接触の定義となりますので、一緒に勤務していた調理員1名が濃厚接触者となります。が、濃厚接触者となった職員に関しては、16日以降を出勤自粛しております。給食提供業務に関しても、16日から停止とし全調理員と総務職員のPCR検査を行い、全員陰性となっております。（濃厚接触者となった当該調理員に関しては、21日まで自宅待機となります）

ワークセンター一条は16日、17日は、昼食を外部委託（弁当配布）とし、開所しております。ただし、今後どのような状況になるかは予想がつかない部分がありますので、動向を見ながら慎重に対応していきたいと考えています。なお、給食提供に関しては、メニューは変わりますが、18日から昼食提供を行います。

当法人

としましては、感染者・濃厚接触者となった方やご家族の安全を支えるために、できる限りの努力をさせていただきます。

感染者の発生に関するいわれなき差別や誹謗中傷、いたずらに個人情報を詮索する行為等は是非とも慎んでくださいますよう、心よりお願い申し上げます。

社会福祉法人函館一条では、利用者の皆さまとご家族の健康、安全を最優先に考え、今後も速やかに情報をお伝えしていきます。改めて利用者、ご家族の皆さま、地域の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

社会福祉法人 函館一条
理事長 尾形 永造

ワークセンター一条
管理者 木田 祥平